

目指せ「食品ロス」ゼロ!!

フードドライブにご協力ください!

フードドライブとは…

家庭で余っている食べ物（安売りやまとめ買いで買い過ぎてしまったもの、備蓄していたが使わなかったもの、お中元・お歳暮・冠婚葬祭・お土産などで頂いたもの）を捨てないで持ち寄り、こども食堂や福祉施設などに寄付する取り組みになります。

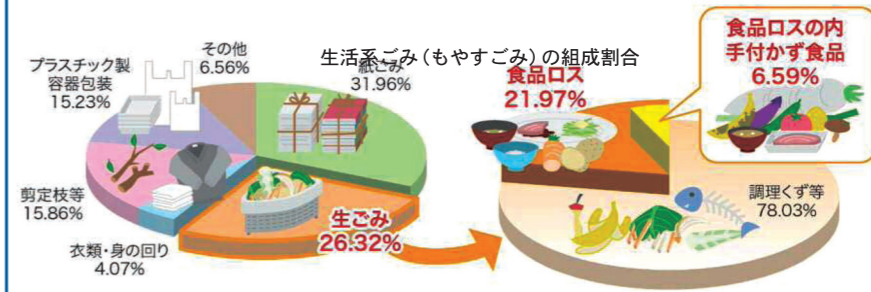
日本の食品ロスの大きさ

日本国内における年間の食品廃棄量（2016年度）は、食料消費全体の3割にあたる約2,760万トン。このうち、売れ残りや期限を超えた食品、食べ残しなど、本来食べられたはずの、いわゆる「食品ロス」は約643万トンとされています。これは、世界中で飢餓に苦しむ人々に向けた世界の食料援助量（2014年で年間約320万トン）を大きく上回る量です。

また、日本人1人あたりに換算すると、「お茶碗約1杯分の食べ物」が毎日捨てられている計算となります。

日本の食料自給率は現在38%（2016年度）で、大半を輸入に頼っていますが、その一方で、食べられる食料を大量に捨てているという現実があるのです。

「食品ロス」とは、まだ食べられるのに、捨てられる食べ物をいいます。本市では、平成29年度の生活系ごみ（もやすごみ）のうち、約4,500t/年、事業系ごみ（可燃ごみ）のうち、約4,100t/年の食品ロスが発生しています。



もったいないをありがとうに

